

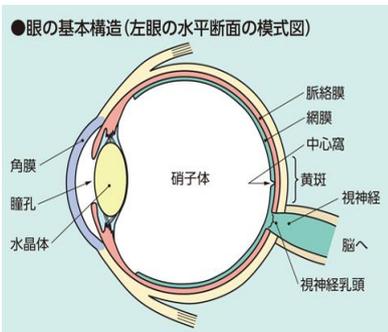


糖尿病新聞 NO18

あじさいの花が少しずつ色づき始め、梅雨の気配を感じる時期となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？糖尿病の三大合併症には、神経障害、網膜症、腎症があります。その中の網膜症は、進行・悪化すると失明する恐ろしい合併症であり、成人後の失明原因の第二位になっています。今回は、網膜症の原因・症状・検査・治療について視能訓練士さんに詳しく教えていただきました。

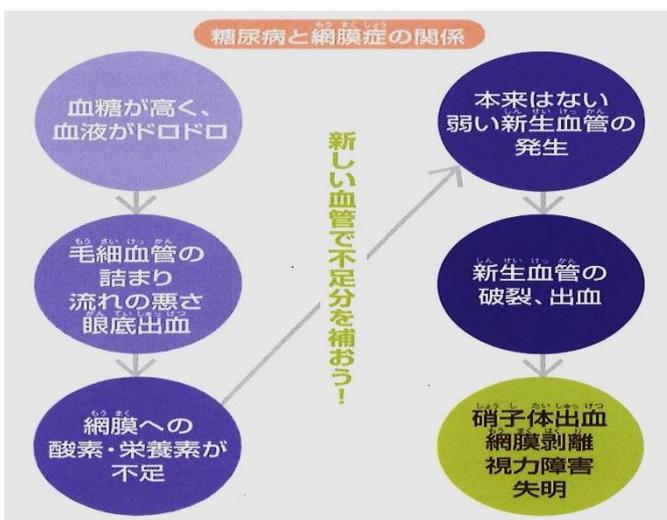
糖尿病網膜症とは？

網膜は眼底にある薄い神経の膜で、ものを見るために重要な役割をしています。カメラでいうとフィルムのような役割をしています。血糖が高い状態が長く続くと、網膜の細い血管は少しずつ損傷を受け、視力が低下する病気です。



どうして眼が悪くなるの？

糖尿病患者さんの血液は糖が多く固まりやすく、毛細血管が多い眼の中の網膜では、血管が詰まったり血管の壁に負担がかかり眼底出血をおこします。すると、血液中の流れが悪くなり酸素や栄養素が不足し網膜症の原因になります。進行すると眼の中で大出血が起こり、更には失明することも・・・



どんな症状があるの？

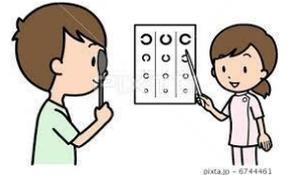
網膜症は、発症していても自覚症状がないので初期の段階で眼の異常に気づくのは困難です。「見にくい」「黒いものが見える」などの自覚症状が現れたときにはかなり進行しています。

眼科の定期的受診が
大切です。



どんな検査をするの？

① 視力測定 ② 眼圧測定 ③ 眼底検査 (瞳を開いて散瞳しないと隅々まで見えません。眼科受診時は運転せずに行きましょう。)



どんな治療をするの？

- ① 血糖コントロール—大切な基本
- ② レーザー光凝固術—新生血管の発生を 방지 進行防御
- ③ 硝子体手術—進行した硝子体出血や網膜はく離治療

網膜症の予防は？

- ① 血糖コントロールを頑張りましょう。
- ② 糖尿病と診断されたら必ず眼科で検査を受けましょう。
- ③ 自覚症状がなくても定期的眼科検査を続けましょう。
- ④ 検査結果は糖尿病眼手帳に記載してもらい自己管理しましょう。

